

まちづくり委員会資料

陳情の審査（視察）

陳情第84号 JR東海のリニア中央新幹線梶ヶ谷非常口「ケーソン工法」採用に伴う再アセス実施と隣の井戸から溢れた水による自宅の被害に関する工事協定書締結を求める陳情

陳情第85号 調布市の陥没事故のテレビ報道を見てリニアの大深度工事に伴い自宅で同様の事故や問題が起きないようにJR東海、県と国に対して、具体的に事前の対応策の申し入れや検討いただきたい事項についての陳情

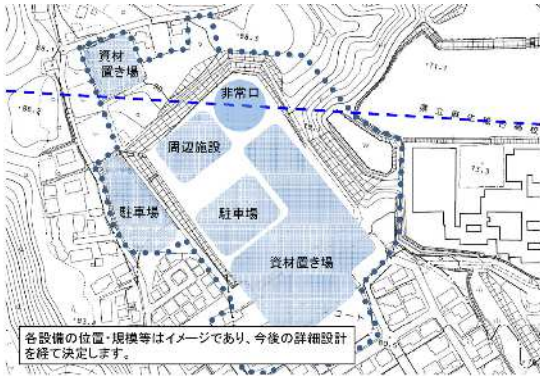
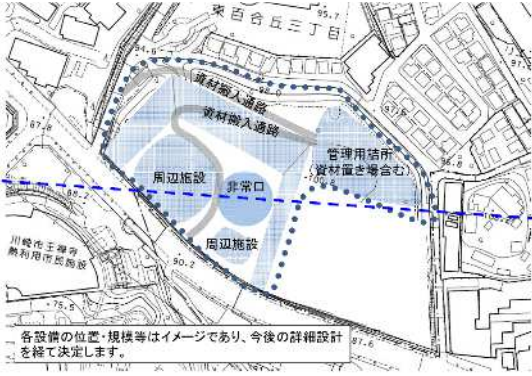
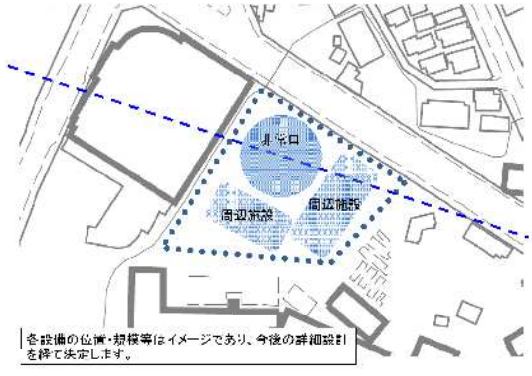
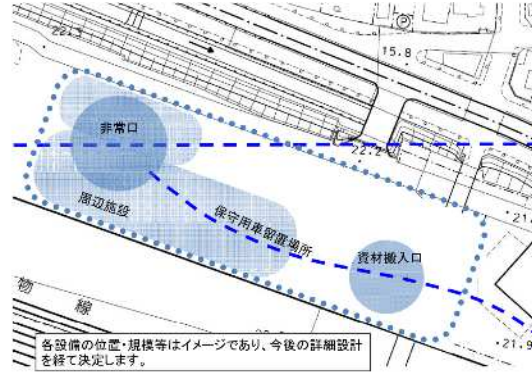
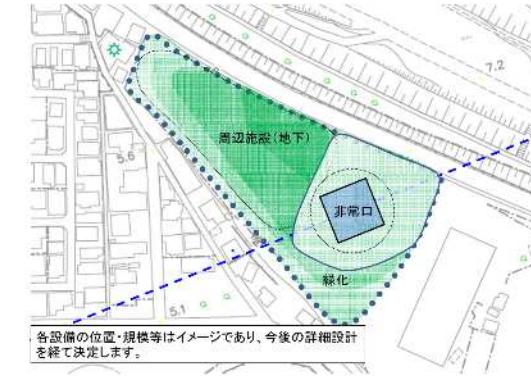
資料1	リニア中央新幹線計画の概要
資料2	梶ヶ谷非常口及び資材搬入口新設工事の概要

まちづくり局

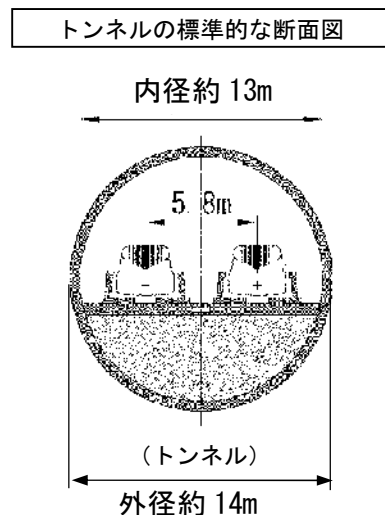
1 中央新幹線計画の内容

名称及び種類	名 称：中央新幹線 品川・名古屋間 種 類：新幹線鉄道の建設（環境影響評価法第一種事業） 事業者：東海旅客鉄道株式会社（以下「JR東海」という。）
事業実施区域の起終点	起点：東京都港区、終点：愛知県名古屋市 主要な経過地：甲府市付近、赤石山脈（南アルプス）中南部
走行方式	超電導磁気浮上方式
最高設計速度	505km/h
工事予算	総工事費：7.04兆円
路線概要	「中央新幹線 品川・名古屋間」の路線は、東海道新幹線品川駅付近を起点とし、山梨リニア実験線（全体で42.8km）、甲府市付近、赤石山脈（南アルプス）中南部を経て、東海道新幹線名古屋駅付近に至る、 延長約286km （地上部約40km、トンネル約246km）の区間である。 駅については、品川駅付近、名古屋駅付近のほか、神奈川県内、山梨県内、長野県内、岐阜県内に一駅ずつ設置する計画である。

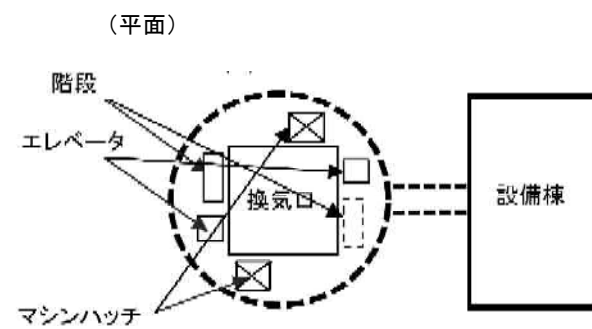
2 市内の非常口等計画地の概要

片平非常口 （旧鶴川総合運動場内）  各設備の位置・規模等はイメージであり、今後の詳細設計を経て決定します。	東百合丘非常口 （旧JSR東京研究所内）  各設備の位置・規模等はイメージであり、今後の詳細設計を経て決定します。	犬蔵非常口 （旧サンワ川崎工場内）  各設備の位置・規模等はイメージであり、今後の詳細設計を経て決定します。	梶ヶ谷非常口及び資材搬入口 （JR貨物梶ヶ谷ターミナル駅隣接地内）  各設備の位置・規模等はイメージであり、今後の詳細設計を経て決定します。	等々力非常口 （旧JXホールディング等々力グラウンド内）  各設備の位置・規模等はイメージであり、今後の詳細設計を経て決定します。
---	---	---	---	--

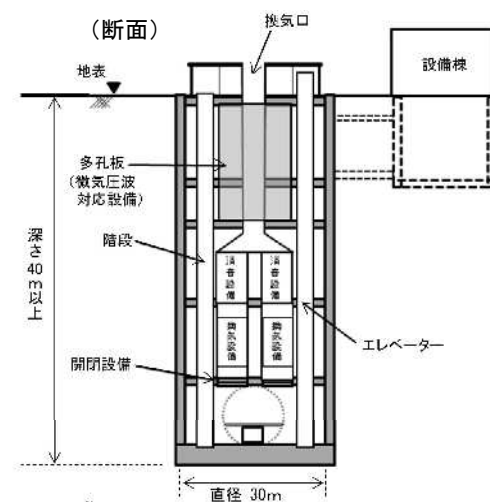
3 市内の施設・設備の概要



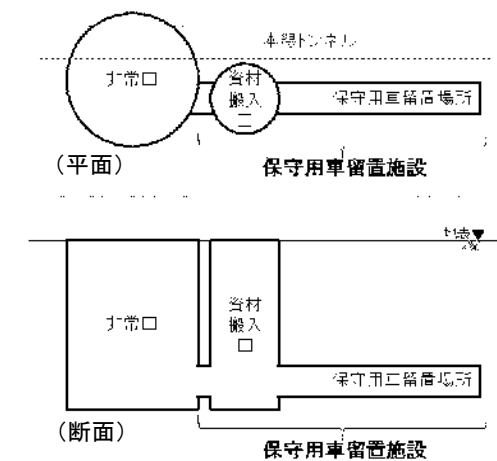
非常口における設備の概要



2



保守用車留置施設の概要

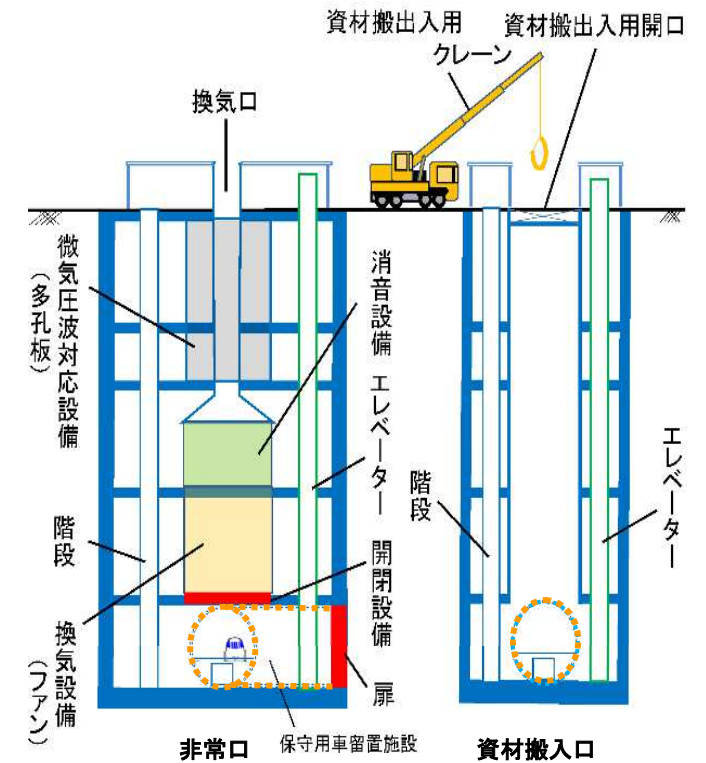


本資料は、JR東海が作成した次の資料から、川崎市が説明用に抜粋、加工したものです。
 ・「中央新幹線（東京都・名古屋間）環境影響評価書（神奈川県）」（平成26年8月）
 ・「中央新幹線品川・名古屋間工事実施計画（その1）」（平成26年8月）
 ・「中央新幹線品川・名古屋間事業説明会【神奈川県川崎市】」（平成26年11月）

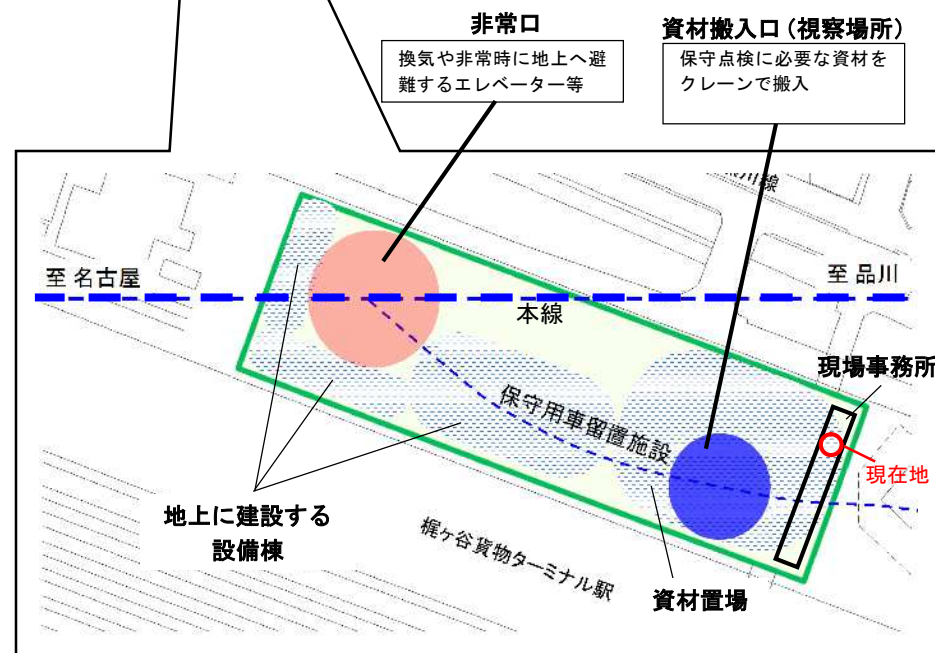
- (1) 工事名称：中央新幹線梶ヶ谷非常口及び資材搬入口新設工事
- (2) 工事場所：川崎市宮前区梶ヶ谷（梶ヶ谷貨物ターミナル駅構内）
- (3) 工事契約期間：平成 29 年 2 月 2 日～令和 3 年 10 月末
- (4) 非常口等の概要：[非常口]深さ約 80m、直径約 50m（令和 3 年 10 月末完成予定）
[資材搬入口]深さ約 75m、直径約 30m（令和 3 年 2 月完成）

本資料は、ＪＲ東海が作成した次の資料から、川崎市が説明用に抜粋、加工したものです。

- ・「中央新幹線梶ヶ谷非常口及び資材搬入口新設工事－工事説明会－資料」（平成２９年３月）
- ・「中央新幹線梶ヶ谷非常口及び資材搬入口新設工事における環境保全について」（平成２９年３月）



非常口及び資材搬入口の概要（断面図）



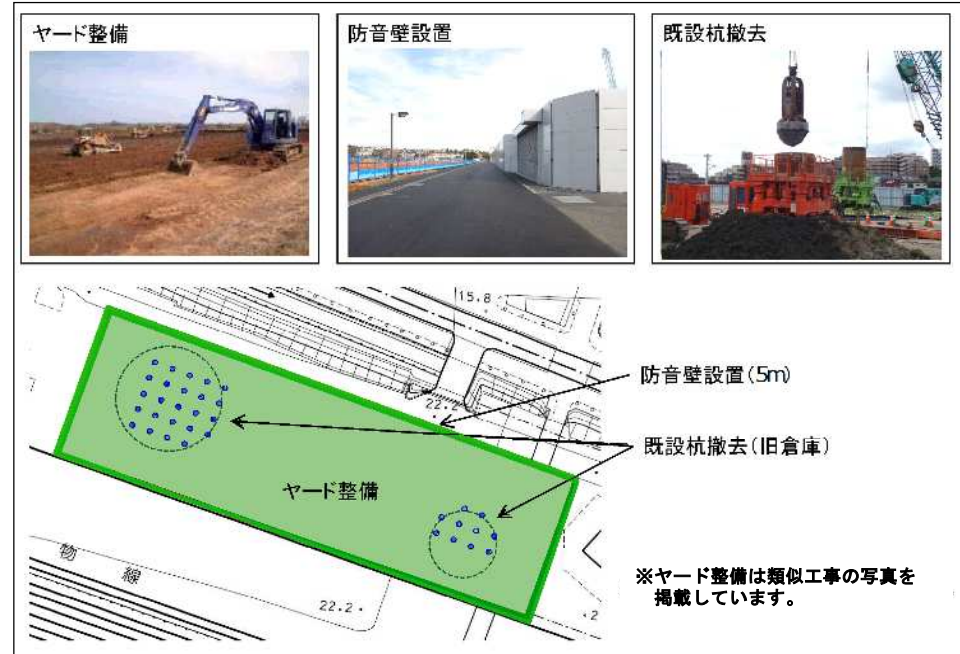
非常口及び資材搬入口の概要（平面図）

[illegible]

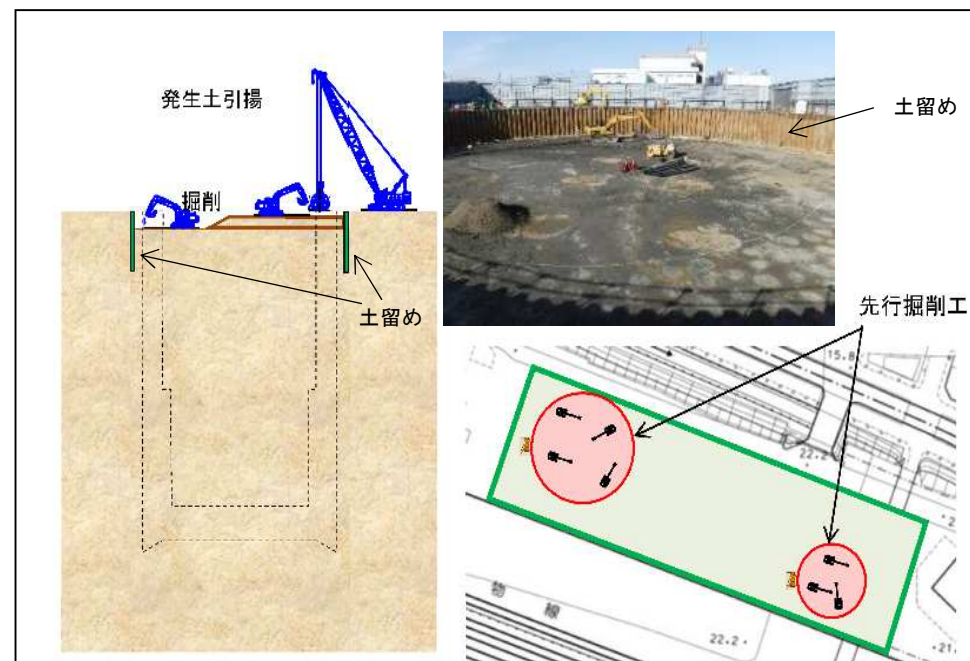
※工程については、現時点の計画であり、変更する場合があります
※シールドトンネル工事は別途、平成31年1月29日に契約（令和8年11月30日まで）

3 施工手順

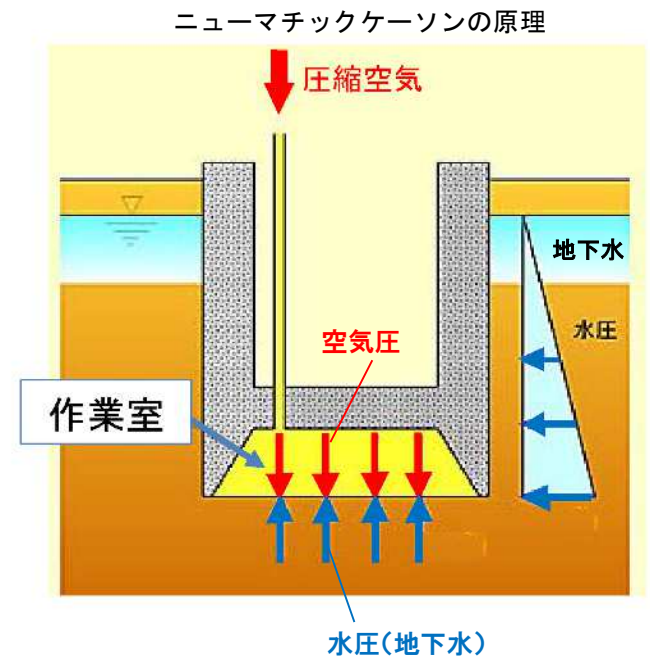
(1) 準備工



(2) 先行掘削工



(3) ニューマチックケーソン工



空気圧 = 水圧(地下水) ならば作業室に地下水は侵入しない

【施工ステップ】

